※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「彫刻・立体」自らの手作業を通して創造の素晴らしさを知る。
　「絵画」自らのイメージを色彩と構図によって表現する。
　「デザイン」伝達手段としての表現方法を模索する。
　　以上３つを学習の柱として授業を進めていきます。
・作品の完成度だけではなく、制作に取り組む姿勢を重視します。
・他者の作品を鑑賞することで、より表現の幅を広げ、また創作活動の難しさと素晴らしさを知ることで、創造力の豊かな人間性を育んで貰えたらと考えています。

２　学習の到達目標

・作品の制作を通して素材や用具等の特性や機能を理解することで、知識・技能を身につける。
・独自の表現を追求することで、思考・判断・表現の幅を広げる。
・他者の作品や教科書等を参考にし、自らの作品の完成度をより高めようとすることで、主体的に学習に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現および鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	紙の立体	［立体デザイン］ ・液晶プロジェクターによる課題説明。 １枚のケント紙からテーマに沿って立体を制作する。	a:１枚の紙（２次元）に手を加えることで３次元の作品に変化することを再認識する。 b:色彩を用いず、形態のみで与えられたテーマに沿った独創性のある作品を作ろうとしている。 c:設定された制作条件を遵守している。	提出作品	作業状況の観察	提出作品
	ねじれた五角錐	［彫刻］ ・液晶プロジェクターによる課題説明。 型に流し固まった石膏を彫刻刀で成形し、ひねりのついた五角錐を制作する。	a:石膏粉を決められた手順で硬化させ、彫刻刀の機能を理解しテーマに沿って成形する。 b:色彩を用いず石膏の質感だけで自らのイメージを表現しようとしている。 c:制作テーマ「ねじれた五角錐」を常に意識し制作している。	提出作品	作業状況の観察	提出作品
	サンドブラスト1	［立体デザイン］ ・液晶プロジェクターによる課題説明。 タイルに任意の漢字を転写し、サンドブラストで印字し、絵の具で彩色する。	a:サンドブラストの適切な使用方法およびカッターナイフの適切な使用方法を理解する。 b:漢字の持つ意味を理解し、それに適したフォントや色彩を考察し、自らの作品に活かそうとする態度。 c:与えられた制作時間内に自らの作品を完成しようとしている。	提出作品	作業状況の観察	提出作品
	額縁の制作	［立体・絵画］ ・液晶プロジェクターによる課題説明。 和紙と発泡スチロールを材料に、上記タイルを掲示するための額縁の制作。	a:素材の持つ特性を理解し、適切に使用することで作品の完成度を高めようとしている。 b:自らのタイル作品の完成度をより高めるために、絵柄や配色等を考察している。 c:タイル作品との一体感を意識し制作している。	提出作品	作業状況の観察 アイデアスケッチ	提出作品

※令和４年度以降入学生用

	作品展の鑑賞	［鑑賞］ ・「大阪府高等学校美術・工芸展」の鑑賞。 ・「ゆうかり展（八尾高校美術部 OB 作品展）」の鑑賞。	a：他者の作品を鑑賞することで様々な表現技法を知る。 b： 他者の作品を鑑賞することで、表現と技法の関係性を理解する。 c： 他者の作品を鑑賞することで、自らの制作に活かそうとする態度。	レポート	レポート	レポート
後期	サンドブラスト2	［立体デザイン］ ・液晶プロジェクターによる課題説明。 ガラスコップに任意の漢字4～5文字と任意の図案を転写し、サンドブラストで印字を施し、絵の具で彩色する。	a：前期のタイル作品で学んだ技法を活かし、より完成度の高い作品を制作しようとしている。 b：タイル作品より難易度の高い作品制作に、より意欲的に取り組もうとする態度。 c：漢字の持つ意味合いと組み合わせる図案および彩色とのマッチングを意識している。	提出作品	作業状況の観察	提出作品
	だまし絵	［絵画］ ・液晶プロジェクターによる課題説明。 写真の一部分に紙片を貼り、その隠蔽部分に絵の具で描写し、写真と同化する。	a：極細面相筆の適切な使用方法を理解し、作品の完成度を高めようとする態度。 b：複数の絵の具を混色することで、自らの手で無限に色彩を生み出すことができることを理解する。 c：より難易度の高い部分を選び、制作に取り組む。	提出作品	作業状況の観察	提出作品
	にっぽん	［平面デザイン］ ・液晶プロジェクターによる課題説明。 「にっぽん」をテーマに、与えられた条件の中で自らの考える日本のイメージを作画する。	a：自らのイメージを、イラストや印刷物を使用し、より明確に表現しようとする態度。 b： テーマをもとに創造力や感性を働かせ、独自の発想を追求し、作品の完成度を高めようとする態度。 c： 設定された制作条件内で自らの表現に取り組んでいる。	提出作品	作業状況の観察 ワークシート アイデアスケッチ	提出作品

※令和４年度以降入学生用

	絵文字	［平面デザイン］ ・液晶プロジェクターによる課題説明。 プリントアウトされた任意の漢字1文字を転写し、その文字にイラストを書き足し、その漢字の持つ意味をより明確にする。	a:自らのイメージを、文字にイラストを加えることでより明確に表現しようとする態度。 b:テーマをもとに創造力や感性を働かせ、独自の発想を追求し、作品の完成度を高めようとする態度。 c:プリントアウトされた文字を正確に転写している。	提出作品	作業状況の観察	提出作品
	作品展の鑑賞	［鑑賞］ ・「中央ブロック高校美術・工芸展」の鑑賞。	a:他者の作品を鑑賞することで様々な表現技法を知る。 b: 他者の作品を鑑賞することで、表現と技法の関係性を理解する。 c: 他者の作品を鑑賞することで、自らの制作に活かそうとする態度。	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度